

昭和14年2月1日

鉱山の定休日を日帰りの「田代温泉」片道2時間コース。途中青空が消え風も出てきたが気温も零度前後で不安はなかった。「七十森山」頂上まで2時間半、峰伝いに「柴森山」を越え田代温泉近くの雪庇で大きく迂回するも午後2時15分温泉着。予定の二倍以上、4時間50分を費やしていた。

急いで昼食を食べ二人だけ入浴後午後3時50分帰途に。（「七十森山」通過とあるが軌跡上は登っていなかった？）多少吹雪いたが、だだっ広い牧草地を直進のつもりが大きく円弧を描き進む。午後7時ころ「七十森山」にたどり着いたと思ったが別の峰で彷徨はここから始まる。往路のコースが皆目わからず猛吹雪の中、空腹と疲労も忘れ「松ヶ沢」から「坪川鉱業所」を目指す。午後10時ころ、沢の底に着いたが勝手が違うと登り返し峰を二つほど越し次の沢に出たが鉱山の明かりが見えない。この時点で二人が不明になる。沢を下り駒込川上流「七十の沢」の水門から下方百メートルにある三段滝（亀滝）を見つけ「三階滝」と勘違い。意見が割れる中遡行し「田代温泉」目指すことになったが既に午前2時。平坦地を見つけ、ブナの大木下で夜明けを待つ事に。